

新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン(2022年度版)

首都圏模試センターでは学校会場での模試を実施するにあたり、新型コロナウイルス感染防止対策を以下のように徹底いたします。

(受験生について)

- 受験生は模試当日の朝、起床時に体温を受験票に記入。入場時に座席票を渡すスタッフが体温を受験票でチェックする(あるいは、学校で予め決められた方法で検温を行う)。37.5度以上の発熱や咳、鼻水等の症状がある場合は、会場への入場を制限する(受付で確認した場合は自宅受験を求める)。
- 受験生は全員マスク着用。咳エチケットを遵守する。ただし、過敏症等でマスクの着用が難しい場合は柔軟に対応する(フェイスシールドの着用等)。
- 受験生は入場時にアルコール消毒、トイレ使用後は手洗いを徹底させる。
- 体調不良者が出た場合は本部に移動させて、体温を確認。37.5度以上ある場合、または体調が悪い場合は帰宅させる(原則自宅受験対応とする)。

(保護者)

- 校舎内に保護者控室・待ち合わせのための待機場所等を設けるかについては学校と相談の上決定する。

(保護者会・学校説明会・相談会)

- 当社主催の保護者会・学校説明会は各学校と相談し、実施可否は各学校の判断とする。なお、保護者会を実施する場合でも、保護者の検温や講演会場の消毒は学校側が対応するものとする。

(運営について)

- 2022年度は1教室の座席数を定員とする。ただし、学校の貸出基準がある場合はその基準に準じて使用する。
- ソーシャルディスタンスを保った上で入退室させる。
- 試験終了後、机、椅子、ドアノブや手すり、電気のスイッチ、エレベータのボタン、トイレの便座等、受験生の手が触れる部分の消毒作業を行う(アルコール等は当社にて手配する)。
- 教室の室内換気を徹底する。

(スタッフについて)

- スタッフは全員マスク着用、咳エチケットの遵守。
- スタッフは自宅で体温を測り、37.0度以上の発熱がある場合、もしくは軽度であっても咳などの症状がある場合は出勤停止。学校に入る前も検温を実施する。

(その他・全般)

- スタッフと受験生には、事前に感染が判明した同居親族ほか濃厚接触者となりうる者との接触がないことや、2週間以内の海外渡航がないことを確認し、上記に当てはまる者については来校をお控えいただく。